

一緒にやろうや!

2017.2月号

まちづくり☆通信

春の陽気が待ち遠しいこの頃です。おまたせしました「まちづくり“一緒にやろうや”通信」2月号が完成しました！高知市では、つながりのある地域づくりを目指して、まちづくりに関する情報や、地域の取組の様子をお届けするとともに、市民の皆さんと協働のまちづくりと一緒に考えていくために本紙を発行しています。

まちづくりでちょっと役に立つ情報を紹介する「知っ得！コーナー」など、盛りだくさんの内容でお届けしていきますので、今後も、この「まちづくり“一緒にやろうや”通信」を、どうぞよろしくお願ひします！

秦地域連携協議会が
設立されました!

平成28年12月18日、秦小学校区にて高知市で17番目の地域内連携協議会である「秦地域連携協議会」が設立・発足されました。

秦小学校区内の31団体が会員となり、地域において築き上げてきた助け合い・支え合いの精神と行動を継承・発展させるとともに、互いに地域の情報を共有し、連携して地域課題の解決等に努め、住みよい豊かなコミュニティの形成を目指すことを目的として活動していきます。

先日1月15日(日)には「新春広場体育始め・どんど焼き」イベントにて老若男女が楽しめるスポーツや竹工作、どんど焼きを行い、住民相互の親睦を深める取組を行いました。



地域内連携協議会って



地域内連携協議会とは、地域の各種団体が地域内の連携・協力によって、地域課題の解決や地域の活性化をめざすためのしくみです。

地域内連携協議会は、おおむね小学校区単位で設立を提案しており、また地域の団体や個人が集まる場としてゆるやかな連携を呼びかけています。地域内連携協議会ができることで、①地域での情報を共有し、②他の団体と役割分担や負担軽減を行える相互協力ができ、③地域の課題を地域全体で取り組むことで課題解決や地域の活性化につながります。

～ 地域内連携協議会 イメージ図 ～



※この図はイメージ図です。各地区に組織されている各種団体を全て記載しているものではありません。

地域活動応援隊

1 地域活動応援隊の配置

高知市では、地域の課題解決に向けた活動の促進や、地域と行政の協働による地域づくりを推進するために、専任ではなく通常業務と兼務した「地域活動応援隊」を配置し、「地域内連携協議会として認定した団体」を支援します。

地域内連携協議会を認定した団体を組織している地域へ市職員を配置

1 地域につき3人程度を配置

課長補佐級の職員 1人
係長級以下の職員 2人 を基本とします。

2 地域活動応援隊の役割

地域が抱える身近な課題の解決に向けて、任命された職員が地域のことを学び、地域と共に一緒に考えることで、地域の実情に沿った活動を応援することができます。

地域活動応援隊は、地域と行政の“つなぎ役”として、地域内の連携・協力のしくみが確かなものとなるよう、地域における課題の解決に向けた取組等について、主に次のことを行いながら地域を応援していきます。

地域内連携協議会の会議等への参加を通じて、地域の実態や課題等の把握に努め、行政（担当課や関係機関）への報告を行います。

地域における課題の解決に向けた話し合いの進行を補助します。

行政が有する情報や地域に関する情報など、必要に応じた様々な情報を地域へ提供します。また、地域の実態や課題等に応じた行政機関の支援制度の情報を収集し、地域へ提供します。

会議等の場で出された意見・要望等に対して、窓口となる担当課や関係機関を紹介します。

聴かせて！

地域活動応援隊（通称：地援隊）の意気込み

【朝倉小学校区担当：

産業団地整備課 加用 昌男】

平成28年7月から地援隊として、朝倉小学校区地域内連携協議会に参加しています。

地域と行政の協働による地域のつなぎ役（地域活動応援隊）として、「地域のために高知市職員として何か力になりたい」と思い、必死に内容に聞き耳を立てています。（まだまだ、地域の皆さんの意見交換に割って入れる場面には至っていません。）

日頃の業務では、技術職員として工事等の説明会などを行っています。工事の目的や方法等が事前に決まった上で説明を行うため、当然、賛成意見や反対意見が出る中、可能な範囲で変更等を行いながら理解や協力をいただいています。

連携協議会は、市民・地域のために、地域と行政が共に方法を検討し、同じ方向を目指していく、良い意味で和やかな雰囲気での会議がされており、「地域のために力になりたい」という入庁当時の初心を思い出し、襟を正されるような思いがしています。

連携協議会では、各団体から情報共有や意見交換がされ始めたところですが、それぞれの強みや弱み等が共有され連携することで、問題解決につながる可能性を感じています。

これからも、地域の運営・活動に連携・協力していきたいと考えています。

【土佐山地区担当：介護保険課 木造 純】

今年度から土佐山地域を担当している木造（きづくり）と申します。名字からお察しのとおり、私は土佐山どころか高知県出身でもありません。9年前、大学入学とともに和歌山県から高知県にやってきました。高知県、特に土佐山は、山と川に囲まれ、空気と水が澄んでおり、自分の生まれ育った町とよく似ているのでなんだか懐かしい気分になります。

現在土佐山地域は、後継者不足という深刻な課題に直面しています。土佐山は、人口に対して自営農業に従事されている方が約3割と、農業が盛んです。ただ、従事者のうち約9割が40歳以上の方で占められており、土佐山の農業を担っていく若い世代が圧倒的に不足しています。今と同じ、もしくはそれ以上の生産量を確保していくための後継者づくりは、地域の共通の課題として議題にもあがっていました。

このような課題に対し、土佐山夢づくりの会では、定例会での課題検討に加え、行政の補助金を活用した事業や、高知大学の地域協働学部との連携など、様々なアクションで地域コミュニティの強化に取り組んでいます。

まだまだ土佐山のことについてわからないことだらけの私ですが、応援隊として少しでも地域の活性化に貢献できるように精一杯努力しますので、今後とも宜しくお願いします。



平成28年8月30日、長浜小学校区で地域のために活動を進めている、41事業団体が集結し、「地域住民の連携・協力により、共有する問題解決や活性化を図り、住民間の親睦と交流を図ること」を目的として、設立されました。

本会の特徴は、「地域福祉部会」「地域活性化部会」「安全・安心部会」の3つの部会を作り、各団体が持つ専門性を活かして、相互の協調を図り、活動することにあります。

これまででは、地域内にある各団体の活動目的・事業計画等は、横の繋がりが薄く、十分な連携が果たせていませんでしたが、当会で地域内での活動計画及び問題点等を共有し相互に助け合い、総合的な活動が促進される意義は大きく、地域の期待に沿うべく活動をしたいと考えています。

◆設立初年度の活動◆

- 1 当会の設立・発足を記念する広報紙発行
- 2 リオ・パラリンピック銅メダリスト 池 透暢 氏 講演会

(長浜・御畳瀬連携協議会 会長 久武 邦雄)



長浜・御畳瀬 連携協議会 おらんちくの

取組 **Do?**

昨年度から、五台山地域の各種団体と協議を重ねてきた結果、本年度五台山まちづくりの会を結成することとなりました。

五台山まちづくりの会は、従来からある各種団体の役割を補完し、さらに横のつながりも重視しつつ、地域発展に寄与していきたいと考えています。

今年度は、まちづくりに関する住民アンケートの実施、クリアファイル（ドローンによる空撮写真）の全戸配布、五台山小学校祭りに合わせた独自企画の運営を計画しています。

今後は若い世代が、地元五台山でこれからも生活したいと思えるように、郷土愛をさらに育む企画を構成役員の負担にならない程度で実行していきたいと考えています。

(五台山まちづくりの会 代表 渡邊 伸)

五台山 まちづくりの会



高知市まちづくり未来塾

未来塾へおいでよ！

一緒にまちづくりを行う仲間を募集しています！



高知市まちづくり未来塾は「まちづくりは人づくり」を合い言葉に、市内各地域からまちづくりに関心のある塾生が集まり、塾生同士の連携・交流や、自身のスキルアップを図る事はもちろんですが、「コミュニティ計画推進市民会議全体交流会」を開催することにより、各地域が取り組んでいる活動事例の紹介や情報交換を行い、お互いのネットワークの形成を図るとともに、それぞれが地域でのまちづくり活動につなげていくことを目的としています。

また、「未来塾の塾」といった、新しい仲間づくりを展開してきたことにより、今では若い仲間が随分と増えました。その若い仲間が次世代を担うまちづくり人として、各々の地域で活躍してくれることを期待しながら活動を続けています。

定例会

毎月1回開催。未来塾の活動について話し合っています

交流会

地域のお祭りへの参加や、市民会議同士の交流会を実施

部会の活動

防災部会、農園部会の2つの部会が活動中

未来塾の活動

まちづくりの学び

まちづくり先進地への研修旅行や定例会での勉強会等

人材育成

新たなまちづくり人を育てる活動の「未来塾の塾」を開催

◆ 第7回全体交流会のご案内 ◆ (詳しくは地域コミュニティ推進課までお問い合わせ下さい)

今回の交流会は、高知市の提案する「地域内連携協議会」について、各地区のまちづくり団体の取り組み事例や、地域同士の交流カフェ、講師を迎えての講演を予定しています。

■日時:平成29年3月11日(土)13時30分～

■場所:高知市役所たかじょう庁舎6階会議室

高知市まちづくり未来塾 代表 岡田法生



☆ ご存知ですか？ まちづくり活動の助成事業 ☆

高知市では、公益信託「高知市まちづくりファンド」と「こうちこどもファンド」という、市民の皆さんが行う「まちづくり活動」を支援するための助成事業を行っています。

まちづくり活動といっても、「どんな活動が助成の対象になるの？」と思われるかもしれませんが、例えば、自然環境の保全、防災、福祉、教育、文化、スポーツ、生涯学習、住みやすい環境づくりや人づくりなどの様々な活動を通して、「高知市を元気に!」、「地域コミュニティの活性化!」などにつながるような活動が助成の対象となります。

両ファンドとも、助成先を決定する公開審査会や、助成を受けた団体については活動の成果を報告するための発表会への参加等が必要となりますが、高知市をより住みよいまちにしたいという思いを持たれている方達ばかりなので、交流の場として、また、お互いの活動を発展させていく場にもなりますので、皆さんの住まわれている地域で、また、市域全体で、両ファンドを活用した「まちづくり活動」を始めてみませんか。

○ 公益信託「高知市まちづくりファンド」

【応募資格】

市内に活動拠点があり、3名以上のグループであること。そのうち1/3が市内在住・在勤・在学であること。

【助成金額】

A 「学生まちづくり」コース	上限 5万円
B 「まちづくりはじめの一步」コース	上限 5万円
C 「まちづくり一歩前へ」コース	上限 30万円
D 「まちづくり拠点整備」コース	上限100万円

詳しくは、高知市市民活動サポートセンターまで
高知市鷹匠町2-1-43（高知市たかじょう庁舎2F）
Tel 088-820-1540

○ 「こうちこどもファンド」

【応募資格】

- ①市内に在住等の18歳以下の子どもが3名以上
- ②サポートする20歳以上の大人が2名以上
- ③複数世帯（2世帯以上）の子どもで構成

【助成金額】

上限20万円

詳しくは、高知市役所地域コミュニティ推進課まで
高知市鷹匠町2-1-43（高知市たかじょう庁舎2F）
Tel 088-823-9080



左写真は、こうちこどもファンド助成団体「一宮家おもてなし隊」の、平成28年度の活動の様子です。

今日の

地コミくん・ 地コミちゃん



今回は、昨年4月、秘書広報課から地域コミュニティ推進課へ異動してきた『松本剛大(まつもととたかひろ)』さんをご紹介します！
松本さんは、学生時代にはソフトテニス部でインターハイに出場するなど、スポーツ万能で甘いマスクを持つイケメン、そして子育てに励むなど、スポーツ万能で甘いマスクを持つイケメン、そして周りにも愛される天然キャラとして、公私ともに色々な方から慕われています。また、今年は2月19日(日)に行われる龍馬マラソンにも出場する予定で、日々練習を重ねています。



ここで、松本さんに3つの質問をしてみました。

- Q1. 好きな食べ物は何ですか？ — A1. ラーメン(美味しい店を教えてください^^)
- Q2. 趣味は何ですか？ — A2. 船釣り・磯釣り(勉強中です！)
- Q3. 血液型は何型ですか？ — A3. B型(自己中ではないはずです↓)

なるほど、普段の松本さんとは、また違った一面を垣間見えたような気がします。
以前は秘書広報課の広報担当として辣腕を振っていた松本さんですが、前課の職種とは全く違い、地域コミュニティ推進課に異動してきた当初は、慣れないことも多かったと思います。

しかし、7月に行われた浦戸湾・七河川一斉清掃という、高知市を代表する大規模・広範囲の清掃事業を担当し、普段は市内16箇所のみふれあいセンターやコミュニティセンターの管理業務を中心に、多くの業務に携わっています。各地域のセンターの皆さんからも頼りにされている松本さんから、今後も目が離せませんね！

(後輩職員 T.U 筆)

まちづくり“一緒にやろうや！”通信

発行 平成29年2月 発行

高知市市民協働部
地域コミュニティ推進課

高知市鷹匠町2丁目1-43
たかじょう庁舎 2階

Tel : 088-823-9080

Fax : 088-824-9794

Mail: kc-102000

@city.kochi.lg.jp

HP : <http://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/21/>

(携帯・スマートフォンからは、こちらのQRコードをご利用いただくともスムーズにアクセスいただけます)

